

令和7(2025)年
10月1日発行

中央公民館へ行く！

ちゅうこう

ホームページで、本紙 PDF や利用案内などをご覧になれます。

住所◆〒730-0005 広島市中区西白島町 24 番 36 号

電話◆082-221-5943 FAX◆082-221-5118

E-mail◆chuo-k@cf.city.hiroshima.jp ホームページ Facebook

ホームページ◆http://www.cf.city.hiroshima.jp/chuo-k/

Facebook◆http://www.facebook.com/Chuokominkan/



写真提供・河野宏志さん

■ information ■

【開館時間】午前 8 時半～午後 10 時【受付時間】午前 8 時半～午後 5 時 15 分(木、金曜日は午後 9 時まで)

【10月の休館日】火曜日(10/7、14、21、28)、祝日(10/13日)

【アクセス】JR「新白島駅」下車徒歩 7 分、バス停「西白島」下車徒歩 3 分、アストラムライン「城北駅」下車徒歩 3 分

【駐車場のお願い】施設(公民館・老人福祉センター・シルバー人材センター交遊館・レストラン)の共同利用者用駐車場は8台(身障者用1台分含む)です。満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

その他の施設の駐車場には、迷惑となりますので駐車しないでください。



Oct. - events

10月からの事業案内

※個別記載のない申込は、**10月1日(水) 8:30から電話、来館**等にて開始します。※表記のない講座・イベントの開催場所は、**中央公民館**で開催します。※参加費表記のない講座・イベントは、**無料**で開催します。

※個人情報、事業目的以外に使用しません。

■ 短詩型(俳句、短歌、詩、川柳)にふれてみませんか？

令和7年度(第75回)広島市短詩型文芸大会



日頃の文芸・創作活動の成果発表の場として親しまれた大会です。

俳句、短歌、詩、川柳のそれぞれの部門別の学習会で、一部応募作品の講評や、入選作品の発表、表彰を行います。短詩型文芸大会に参加して、芸術の秋を楽しみましょう！

日時◆11月8日(土) 14:00～ホールにて開会式 ※申込不要

対象◆関心のある方ならどなたでも。 参加費◆無料

主催◆広島市短詩型文芸大会実行委員会、中央公民館

後援◆中国新聞社、広島市、広島市教育委員会

75回続く歴史ある
大会です

【各部門(俳句・短歌・詩・川柳)学習会】

日時◆11月8日(土)14:00からの開会式終了後、14:10頃から部会ごとに応募作品の講評、入選発表、表彰。終了後順次解散

会場◆中央公民館

【俳句の部】4階ホール 【短歌の部】3階大集会室1 【詩の部】3階研修室1 【川柳の部】3階大集会室3

選者◆【俳句の部】鈴木厚子さん(雉)、山口美智さん(創生)、水口佳子さん(夕風)、石橋康德さん(俳人協会広島支部)、吉原文音さん(太陽)

【短歌の部】岩本幸久さん(白炎短歌会)、山本光珠さん(真樹社)

【詩の部】北村均さん(広島県詩人協会)、岡馬重充さん(広島県詩人協会)

【川柳の部】「未だ」森崎八重子さん(広島川柳会)、「遊ぶ」常國喜好さん(呉番傘呉柳会)、「

「風」永井有三さん、「良い」浅原志ん洋さん(やまなみ川柳クラブ)、「聞く」弘兼秀子さん(大竹川柳会)、「明日」山本恵子さん(広島川柳会)

■ 高齢者学級

10月15日(水)受付開始

★高齢者いきいき活動ポイント対象事業

中央ことぶき大学

食べたくなる野菜作りへの思い

毎日、野菜をたべていますか？ 身体に良い野菜ってどんな野菜でしょうか？

食卓と土壌は繋がっていると思いますか？「食べたくなる野菜」作りに奮闘中の

広島の野菜農家の方のお話を聞いて、心も体もいきいきとした食卓にしていきましょう。

日時◆11月19日(水) 10:00～11:30

対象◆おおむね60歳以上の方、申し込み順60名

講師◆あらちゃんファーム 荒谷 浩一 さん



街歩きヒストリア

明星院の被爆イチョウ

(65)



困難に耐えて蘇った被爆イチョウ。折り鶴も捧げられています。

明星院境内に立つイチョウの木。幹には観音さまの仏頭が据えられ、人々を優しく見守っています。

樹齢約 150 年。木は原爆にも耐えて生き残りましたが、その後の落雷や度重なる台風で、遂に枝が全て折れ、腐食した幹の一部をくり抜くほどになってしまいました。



仏頭は、〇二年十月に安置されました。

中央公民館エリア(白島、基町、幟町)の街の魅力などを紹介するコラム「街歩きヒストリア」。

そんな木からある日新芽が。それを見た住職の八木恵生さんは、その生命力に感銘を受け、幹の穴に仏頭を安置して命の尊さを讀めることにしたのだそうです。

今、新芽は見事に成長して青々と葉を茂らせています。私もそのパワーに感動し、また同時に末永い平和を祈りました。

(文・写真
小川敏明さん)